

# 令和3年度認定こども園リーチェル幼稚園における学校関係者評価および自己評価の結果報告

自己評価アンケート集計日 令和4年3月 14日  
 学校関係者評価委員会評価実施日 令和4年3月 28日

## 1. 園の教育目標

心身ともにたくましい子になろう

## 2. 認定こども園リーチェル幼稚園の具体的な保育指針

- 自分で出来ることは自分でやる気概を育てる
- 知性・思考力と好奇心、創造性の伸長
- 身近な動植物を愛し、自然や社会の事象に興味・関心をもつ
- 体力の向上をはかる
- 10の約束（幼児期に身につけたいモラル）を実践する

## 3. 学校評価項目の取り組み状況・達成結果の評価

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	反省と改善点	評価	意見
1	保育の計画性	B	担任以外の職員が長時間保育へ配置できるよう人員を確保することができ、教材研究・保育研究等の時間を捻出することができた。 コロナの影響で今年度も当初の計画を変更することもあり、また休園となることも発生し、コロナの影響は大きかった。そんななかでも、創意工夫を重ねながら保育実践をおこなうことができた。	A	今年度もコロナの影響を受けたが、この一年間コロナ禍においても子供たちへ例年と変わらず保育実践することができた。 コロナ禍における教育保育について、さらに創意工夫を施し、よりよい教育保育の提供を求める。
2	保育の在り方園児への対応	A	昨年のコロナ禍における感染症対策を踏まえ、教育保育活動をおこなうことができた。子供の育ちを第一に考え、感染症対策を講じながらも、積極的に教育保育活動を工夫し、おこなった。また、園児数に対する職員数を増やし、きめ細かいサポートができるよう体制づくりに努めた。	A	コロナ禍における保育について、いろいろと制限があると思うが、感染症対策を施し、安心安全な環境で保育ができることを望む。また園児一人ひとりのきめ細かな対応ができるよう保育の質をこれからも高めていってほしい。
3	教師としての資質・能力良識・適性	A	昨年に引き続き、園内研修として、メンタリングマネジメントを中心とした研修を各月に全職員を対象にリモートで実施し、全職員で同じ想いを共有することで職員の同僚性を高め、また共通言語を職員全体でもつことができた。 キャリアアップ研修についてもリモート研修等をうまく使い効率よく受講することができた。	A	今年度も、例年の研修がコロナにより中止となり、少ない研修機会の中でも積極的に受講し、教師の資質向上に努めた。 また、園内研修により職員全体の資質向上にも努め、より一層質の高い教育組織を築いていってほしい。
4	保護者への対応	B	コロナの影響で、園内に保護者が出入りする機会が減少し、PTA活動も減少し、園と保護者の距離が物理的にも精神的にも離れてしまう状況がつづいてしまった。すこしでもそれらを解消しようと、保護者参観を人数制限しつつもおこなっていった。コロナ禍における園と保護者の連携はこれからも課題となる。	B	保護者の来園機会がコロナにより激減し、園とのコミュニケーションの機会が減ってしまったが、そんな中でも参観機会をおこなったり、行事の観覧方法を工夫し、子供たちの様子をみる機会を創出してくれた。コロナ禍でも園とのつながりが創出できることをより工夫していけるとよい。
5	研修と研究	A	運動と音楽の融合について調査研究対象とし、保育における音楽と運動の関わりや影響を研究した。運動や音楽以外のその他にも興味関心が向くよう、様々な体験活動を取り入れていった。	A	教育内容がより充実したものとなるよう教育研究に努めていって欲しい

\*結果の表示方法

十分達成されている  
 達成されている  
 取り組まれているが、成果が十分でない  
 取り組みが不十分である

A  
 B  
 C  
 D

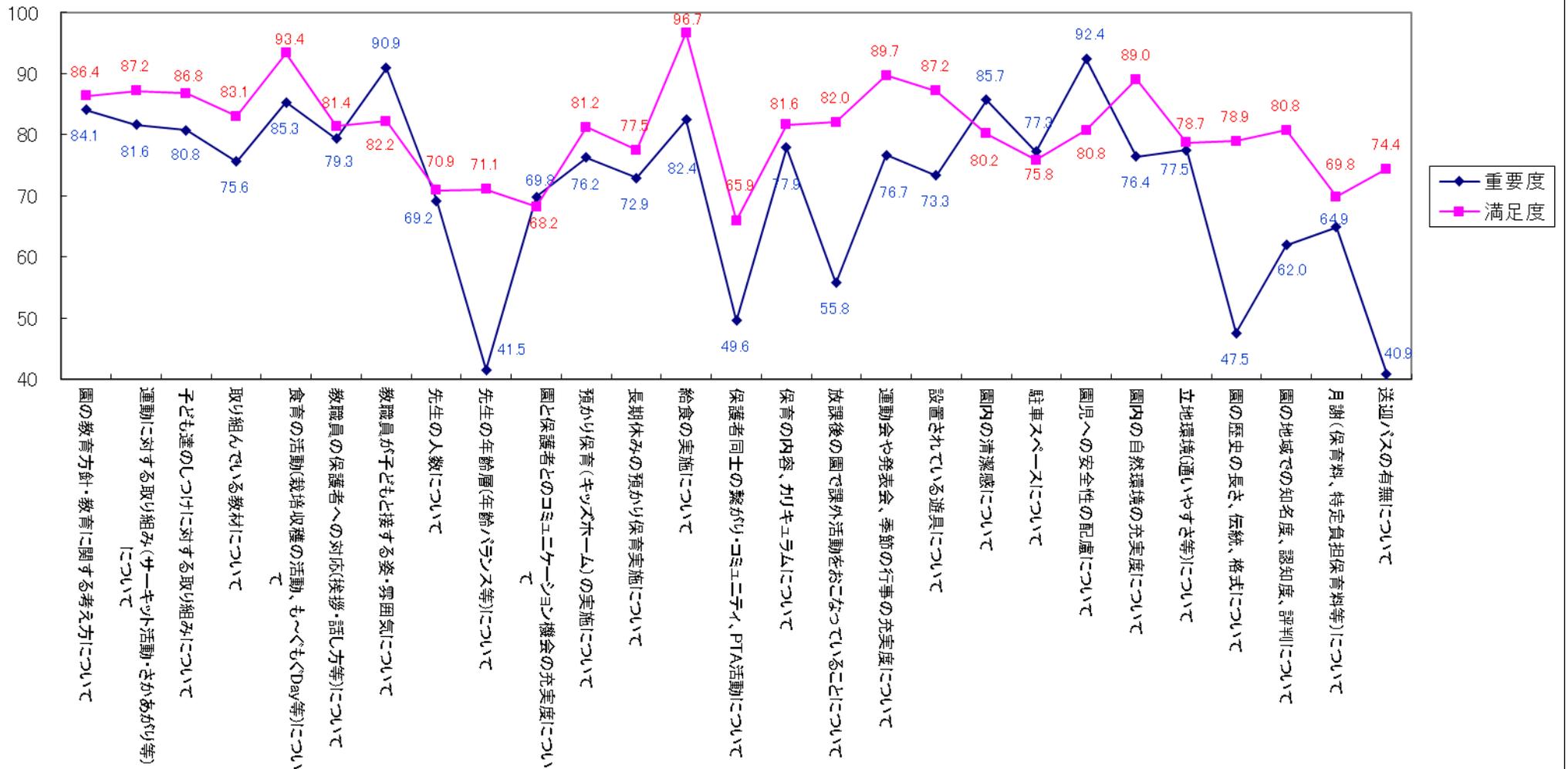
4. アンケートによる自己評価（教職員）および保護者による学校評価の結果

	項目	質問内容	自己評価		学校評価	
1	理念・教育方針	園の教育に関する考え方	76.2	77.8	86.4	87.4
		運動に対する取り組み	78.3		87.2	
		子ども達のしつけに対する取り組み	79.1		86.8	
		取り組んでいる教材について	70.5		83.1	
		食育の活動（栽培収穫の活動、も〜ぐもぐDay等）について	84.7		93.4	
2	教職員の取り組み	教職員の保護者への対応(挨拶・話し方等)について	76.9	69.8	81.4	74.8
		教職員が子どもと接する姿・雰囲気について	70.1		82.2	
		先生の人数について	72.3		70.9	
		教職員の年齢層(年齢のバランス等)について	68.2		71.1	
		園と保護者とのコミュニケーション機会の充実度について	61.7		68.2	
3	教育・保育に関するサービス	預かり保育の実施について	69.2	72.3	81.2	82.1
		長期休みの預かり保育実施について	68.5		77.5	
		給食の実施について	87.2		96.7	
		保護者同士の繋がり・コミュニティ・PTA活動について	69.8		66.9	
		保育の内容、カリキュラムについて	69.4		81.6	
		放課後の園で課外活動をおこなっていることについて	62.3		82.0	
		運動会や発表会、季節の行事の充実度について	79.6		89.7	
4	施設・設備・環境	設置されている遊具について	71.2	73.7	87.2	82.0
		園内の清潔感について	70.4		80.2	
		駐車スペースについて	76.5		75.8	
		園児への安全性の配慮について	73.1		80.8	
		園内の自然環境の充実について	78.2		89.1	
		立地環境(通いやすさ等)について	72.8		78.7	
5	その他	園の歴史の長さ、伝統、格式について	71.9	71.9	78.9	76.0
		地域での知名度、認知度、評判について	69.7		80.8	
		月謝（保育料、特定負担保育料等）について	68.8		69.8	
		送迎バスの有無について	77.2		74.4	

## 5. 保護者アンケートによる重要度と満足度の調査結果

※重要度とは幼稚園選びの際にどの項目を重視しているのかを示し、満足度とはリーチェル幼稚園の取り組みに対する各項目の印象(満足度)を示しています

# 保護者の満足度調査



6. 学校関係者評価委員会による総評

<p>昨年に引き続き、園の理念・教育方針に対する保護者の理解も高く、しつけやカリキュラム、運動・食育に関する園の取り組みに高い評価をいただけている。コロナによる休園もあったが、感染症対策に留意し、対策を施しつつも、子どものすこやかな育ちや成長、発達のために教育保育活動をおこなってほしい。</p> <p>コロナ禍で制限がある中で大変な状況ではあるが、こども園としてより満足いただけるようさらに教育保育の内容を充実させ、また保護者とのコミュニケーションの機会も工夫し充実させ、できることを少しずつ、そして積極的に挑戦して行ってほしい。</p> <p>いかなる状況下でも、園が子育て支援のより良い拠点になるべく、工夫と実践を繰り返していただき、これからの期待も込めて学校関係者評価委員会としての評価は A とする。</p>	<p>総評</p>
	<p>A</p>

7. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>教職員の資質向上、子供や保護者への対応の充実</p>	<p>職員配置をさらに増強し、「子供や保護者への対応についてきめこまやかな対応ができるように努める。園と保護者との関わりやコミュニケーション機会についても、コロナ禍ではあるがより充実したものとなるよう工夫改善をしていく。</p> <p>教職員の資質向上については、園内研修や外部研修を活用し、教職員一人ひとりの資質向上をはかり、園全体の教育保育の資質向上により一層努めていく。また園内研修においても、外部講師だけでなく、職員が講師として職員同士で研修ができるよう育成の仕組みを作っていく。</p>
<p>園児への安全性の強化</p>	<p>事故防止委員会を中心に、事故防止や、不審者対応、自然災害、園内感染、アレルギー対応などのマニュアルを再確認し、非常事態に落ち着いて対応できるよう定期的に研修を重ねる。また、園内のケガについても同委員会にて防止策を検討し再発防止につなげる。コロナ対策については引続き対策を講じ、園児への衛生教育を続けていく。</p>
<p>駐車場、園への通園の問題</p>	<p>保護者への交通マナーの徹底をおこなう。</p> <p>近隣の方々に迷惑がかからないよう登園・降園時のルールを徹底する。</p>
<p>施設・園庭等園内環境の整備・美化</p>	<p>園内の整理・整頓・清潔を常に意識し行動する。感染症予防の観点からも園内を定期的に消毒し清潔に保つことが重要である。安全・衛生の両面から園内を清潔に保つよう努力していく。</p> <p>また事故防止委員会を活用し、安全対策への教職員の意識をさらに高め、園庭における職員配置の改善や園庭の環境整備を進める。</p>